

横浜市山内地区センター 指定管理者事業計画書

申込年月日 令和 3年 6月 30日

団体名	公益社団法人 横浜市民施設協会		
代表者名	理事長 松澤 孝郎	設立年月日	平成22年 4月 7日
団体所在地	横浜市青葉区あざみ野2丁目9番地の22の302		
電話番号	045-482-9572	FAX番号	045-482-9573
沿革	<p>私達は、地区センター等の施設運営に関わってきた自治会・町内会の中心的メンバーが、発起人となって設立した社団法人です。</p> <p>地域に寄り添い、気軽に楽しんでいただける施設運営を通じ、地域のコミュニティの絆をさらに強いものにしていくため、なにより「心と心のふれあい」を大切にしています。</p> <p>掲げているスローガンは、「あつまる・つながる・笑顔になる」です。</p> <p>平成22年 4月 「一般社団法人 青葉区区民利用施設協会」 設立</p> <p>指定管理者制度の導入を機に、「区民のための施設は地域の意思を尊重して運営したい」と、15の連合自治会と社会福祉協議会のメンバーが結集して設立しました。</p> <p>平成26年 2月 「公益社団法人 横浜市民施設協会」 へ移行（名称変更）</p> <p>不特定多数の方々の便益の増進に貢献し、公益性の高い事業を継続するため、①文化芸術の振興 ②高齢者の福祉増進 ③児童青少年の健全育成 ④スポーツ等を通じた心身の健全な発達 ⑤地域社会の健全な発達 の5つの分野で公益認定を受けました。</p> <p>活動範囲を区内に限られることなく、市内で活躍する地域コミュニティ組織とも連携し、共に地域の支援・貢献を進めたいとの思いから「横浜市民」に名称変更を行いました。</p>		
業務内容	<p>地域との協働と区役所との連携を念頭に、公益認定を受けた5つの分野と当法人が掲げる次の7つの事業を相互に関係づけながら事業を展開しています。</p> <p>(1) 区民利用施設等の管理運営 (2) 文化・芸術・スポーツ等の講座やイベントなど自主事業の企画及び実施 (3) まちづくりの推進や青少年健全育成の推進 (4) 区民の自主的な活動の支援 (5) 地域活動推進に関する支援 (6) コミュニティハウス等での生涯学習支援 (7) 自治会・町内会等の事務的支援</p> <p>区民利用施設は、地域活動・地域交流、さらには地域防災の拠点としても、重要な役割を担っています。このため、理事長以下役職員は、施設の適切な管理運営はもとより、自治会・町内会をはじめとした地域の声を丁寧に生かした自主事業を行うため、日々研究し改善に努めています。</p> <p>また、地域が取組む独自の住民活動も地域コミュニティ醸成の重要な要素です。このため、地域活動への人的・経費的支援、事務支援等の役割も果たしています。</p>		
担当者連絡先	氏名	■■■■■■■■■■	所属 事務局
	電話	045-482-9572	FAX 045-482-9573
	E-mail	■■■■■■■■■■	

1 応募団体に関すること

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

■ 業務概要

- 1 青葉区の地区センターなど10施設の指定管理者として、適切な施設の管理運営と施設の利用促進による地域住民のふれあいを図ります。
- 2 音楽・絵画・工作教室など文化芸術の振興、青少年の健全育成などの事業を企画し、地区センターや区民文化センターなどの身近な施設での開催を通じて市民・区民の芸術文化の振興をすすめています。
- 3 学校コミュニティハウスの管理では、常に学校長と連携をとって、地域の集会や学習活動の一翼を担っています。
- 4 屋外イベントや少年サッカー・少年野球に利用するスポーツ公園の管理も行います。
- 5 自治会町内会の会議の支援などを始め、民生委員、青少年指導員など地域の青少年・高齢者などを支える団体と協力し、地域社会の健全な発展に向け事業を行っています。



■ 経営方針

公益社団法人横浜市民施設協会は、地域で活動する団体および個人を社員として設立した団体です。

法人の事業目的の柱として、公共施設の管理運営、文化芸術の振興、自治会活動の支援、青少年の健全育成などを掲げ、快適な地域社会の健全な発展に寄与することを経営理念としています。

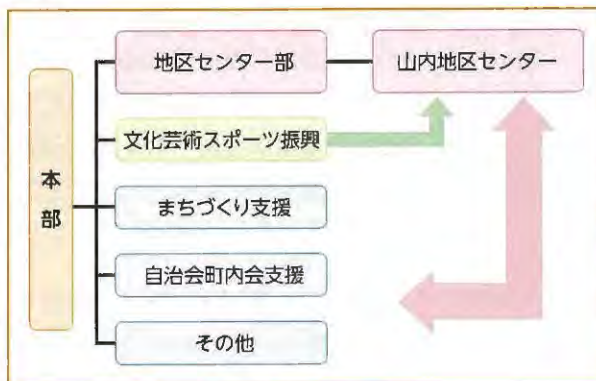
地域の抱える様々な課題に積極的に寄り添い、社会的信用を維持・向上するため、日々、工夫と改善を重ね、活動しています。

イ 応募団体の業務における山内地区センター指定管理業務の位置づけ

山内地区センターは、当法人が指定管理を受けている7施設の中では、会議室数が多く、広い会議室も有することから、山内地区センターを会議室における各種事業展開の旗艦施設として、新たな事業展開を研究するとともに、質の高い事業展開を進めるためのモデルとなる事業に積極的に取り組みます。

山内地区センターでの体系化された事業展開の方法・内容は、他の地区センターや地域の活動団体に提供させていただきます。他の施設や地域の団体が各々の条件に合ったスタイルに改良し、更に質の高いサービス提供につなげられるよう進めていきます。

こうした活動の循環を通じて、**地域団体で組織された当法人の掲げる目的である、地域の連携の深まりが実現**されているものと自負しています。



ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

当法人は、横浜市青葉区の下表17施設、合計で年間100万人を超える方々（平成30年度実績）にご利用いただいています。

管理運営している施設名	業務開始年月	業務区分
地区センター 4館 山内、若草台、美しが丘西、奈良	平成 7年 4月 他	指定管理
単館型コミュニティハウス 3館 青葉台、荏田西、荏田	平成11年 5月 他	指定管理
美しが丘公園こどもログハウス	平成 5年 4月	指定管理
新石川スポーツ会館*1	平成 7年 4月	指定管理
青葉区民文化センター（フィリアホール）	平成25年 4月	共同指定管理
学校併設型コミュニティハウス 6館 鴨志田、さつきが丘、山内、桂台、すすき野、みたけ台	平成 7年 4月	委託
青葉スポーツプラザ*2	平成26年12月	委託

*1 テニス、バドミントン、卓球等のスポーツができる施設

*2 少年野球、少年サッカー、ソフトボール等のスポーツができる屋外施設

2 山内地区センター管理運営業務の基本方針について

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

地区センターは、市民活動・学習や発表の場としての身近な地域の拠点であり、区政運営方針にある「人と地域のつながりづくり」といった目標達成に向けた「誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち」「さまざまな人や地域の活力を高めるまち」「特色を生かして魅力を高めるまち」などを実現する場でもあります。市民ニーズが多様化・個別化する中、自立的に展開する市民の活動をハード・ソフトの両面からサポートするとともに、地域特性を把握し、青葉区の高齢者・障がい者・子育て世代への支援や地域活性化対策等、様々な地域戦略の一端を担う役割を積極的に果たします。

イ 山内地区センターを取り巻く地域特性、地域ニーズ

■ 地域特性

◎ 増える高齢者と多い子育て世代

山内周辺地区の高齢化率は区平均の21.6%に対して15～17%台であり、子育て世代等比較的若い世代が多く居住しているのが特徴です（2020年度区統計より）。

◎ 利用者の居住地域は広範囲

東急田園都市線及び横浜市営地下鉄のあざみ野駅に近く交通至便のため、区内各地域はもとより、**区外や市外（川崎市等）からの利用も多く、全体のおよそ3割を占めています。**

■ 地域ニーズへの対応

◎ 健康・福祉・子育て支援等に高い関心

令和元年度の青葉区区民意識調査結果によれば、地域で参加したい活動として「健康・スポーツ」「趣味の活動」が多い一方、区の重要課題として「高齢者福祉」「子育て支援や青少年の健全育成」等を挙げる声が多くなっています。当センターが開催する自主事業では、ケアプラザをはじめ様々な関係機関と連携して、こうした幅広いニーズに対応した企画内容での事業展開を、引き続き積極的に図っていきます。

◎ 多種多様なニーズに対応し満足度アップ

世代や居住環境の違い、社会意識の変化等により、地区センターへのご要望は多様化しています。山内地区センターには運動系や学習系等の3,500超の団体が登録しており、日常の活動も活発です。それらの活動がより充実するよう的確な支援を行い「顧客満足・顧客感動」のレベルアップを目指します。

ウ 公の施設としての管理・個人情報保護等法令遵守体制について

■ 施設管理及び法令遵守の基本的対応

横浜市地区センター条例に基づき、地域の方々が気軽に気持ちよく、安全・安心に施設を利用していただけるよう、公平・公正で満足度の高いサービスを提供してまいります。笑顔で明るく丁寧な対応に加えて、コンプライアンス・人権の尊重に努め、地域ニーズに的確に対応した良質なサービスや事業を進めてまいります。

個人情報保護等法令遵守の取組について、横浜市民施設協会として「倫理規程」「個人情報保護規程」「公益通報者保護規程」「コンプライアンス規程」等を定め、法令遵守や不正行為の未然防止・早期発見と是正に努めています。

■ 個人情報保護の体制及び取組

個人情報の保護に関する法律等に基づき、横浜市民施設協会が「個人情報保護規程」を制定するとともに、法人として個人情報の適切な管理運用を行うため、事務局長を「個人情報保護総括責任者」とし、各施設の館長を「個人情報保護運営責任者」に任命しています。具体的な事例に基づく検討や話し合いを通じて、個人情報保護の重要性についての意識を高めるとともに、「山内地区センター個人情報保護マニュアル」により、個人情報の適正な取扱いの徹底を図っています。

また、「個人情報取扱特記事項」第12条1項に基づき、「横浜市個人情報に関する条例」等の内容を十分理解できるよう、全職員を対象に、個人情報保護に関する研修を毎年必修で行っています。

3 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

■ 職員の人員体制

館長以下常勤職員3名と、午前・午後・夜間の各班3名が隔週交代で勤務するコミュニティスタッフ (18名)、クリーンスタッフ (業者委託・2名) による安定的かつ効率的な組織体制とします。館長以下常勤職員は早番 (8:40~16:40)・遅番 (13:10~21:10) のローテーション。コミュニティスタッフは隔週ローテーションで午前 (8:45~12:55)・午後 (12:50~17:00)・夜間 (16:55~21:05) のそれぞれ3名体制です。クリーンスタッフは1人体制 (8:20~11:30) です。また、第三月曜日は施設の点検・清掃のため休館とし、職員ミーティングを開催し、情報の共有、スケジュールの確認、研修等を行います。

	午前	午後	夜間
平日 (月~土曜日)	館長以下常勤職員 (早番1名 遅番1名)		
	スタッフ (3名) クリーンスタッフ (1名)	スタッフ (3名)	スタッフ (3名)
日・祝日	館長以下常勤職員 (1名~2名)		
	スタッフ (3名) クリーンスタッフ (1名)	スタッフ (3名)	

職 種	人	業務内容
館 長 (常勤)	1	管理運営の総括責任者、地元・関係機関との調整、人材育成、日常業務
その他常勤職員	2	館長補助、庶務、小口現金・利用料金管理、自主事業企画・実施、スタッフ指導、施設維持管理、日常業務
コミュニティスタッフ(時給職員)	18	窓口対応、案内業務、施設の点検・清掃等日常業務、自主事業補助
クリーンスタッフ(時給職員)	2	館内の清掃、施設の点検

■ 山内地区センターの人員体制の考え方

○ 増加する利用者数・多様化するニーズに対応し、地域や利用者との信頼関係を構築します

- 山内地区センターは、1・3階に分かれ部屋数も16室と多く、登録団体3,500、年間利用者数も17万5千人以上 (令和元年度) を数えます。
- 今後ますます増大かつ多様化する利用者ニーズへの的確な対応、より良いサービスの提供、利用者の安全性の確保等を考慮し、**無駄を省いた最大限の効果を発揮できる体制**としました。
- 業務内容の改善やITの活用等により、効率化、省力化を図り、更なるサービス向上に努めます。
- 地域の会議、行事やイベントに職員が参加するなど、積極的に地域に出向き、**地域との信頼関係・顔の見える関係を構築**していきます。

■ 協会全体による万全な支援

- 横浜市民施設協会が管理運営している様々な施設のノウハウを館長会議やリモート会議などを活用して、迅速に質の高いサービスを提供します。
- 退職等で欠員が生じた場合には、適材適所の人材を迅速に補充するなどの柔軟な対応を取ります。
- 各々の職員が持つ知識や技術を効果的に活用し、利用者満足度の向上や、職員の一層の資質向上に努めます。

3 組織体制

I 研修計画計画

■ 職員研修計画

- 1 山内地区センターを誰もが、気軽に気持ち良く利用していただくと同時に、引き続き利用したいと思っていただけるような公平・公正で良質のサービスを提供することが施設運営の基本と考えています。そのためには、全ての職員が、「利用者に好感を持っていただける接遇」と「施設運営にあたっての基礎的な業務知識と技能」を有することが不可欠です。

様々な機会を捉えて、計画的に研修を実施し、施設内で迅速かつ的確に共有できるよう取り組んでいきます。

- 2 青葉区行政区運営方針も基本目標「住みつづきたい・住みたいまち 青葉の実現」に向け「人と地域のつながりづくりの推進」に取り組み地域活動の活性化を図ることがあげられています。市民ニーズが多様化、複雑化する中で、地区センターが地域の活動拠点として「地域のコミュニティづくり支援」といった役割を担っていくためには、設置目的を正しく理解し実践していくことが益々重要になります。施設協会として、研修や自己啓発の環境を整備し、職員の育成に取り組んでいきます。

■ 職員の育成・研修

1 職場内教育 (OJT)

- (1) 接遇研修 (年1回) ……外部講師を招き接遇の実践的スキルを磨く
- (2) 接遇研修 (毎月) ……法人独自の「接遇ハンドブック」を反復習得、「サービス接遇検定資格」の活用
- (3) 人権研修 (年1回) ……市職員などを講師に招き事例検討を交えて実施
- (4) 個人情報保護研修 (年1回) ……事例検討と討議により実践的に学習
- (5) 防災研修、AED取扱研修、防災訓練……消防職員や専門業者を講師として実施
- (6) 帰宅困難者一時滞在施設対応研修
- (7) 『山内地区センター【スタッフ業務マニュアル】』を活用した研修 (適宜)
※毎月休館日に実施するスタッフミーティングや研修の内容を可視化すると同時に、業務日誌の活用により、職員間の情報の共有を徹底します。
- (8) 地域コーディネーターの養成研修



法人オリジナル
「接遇ハンドブック」

2 職場外教育 (OFF・JT)

- (1) 新入職員教育 (採用時) ……接遇研修、職務基礎教育等
- (2) 管理者教育 (年1回) ……管理者の知識・マネジメント研修等
- (3) 職務研修 (年1回) ……労務・経理研修、企画研修等
- (4) 安全衛生教育 (年1回) ……衛生管理者を中心に計画的に実施
- (5) 他施設見学 (随時)
- (6) 認知症サポーター研修……職員全員が必須受講
- (7) 地域コーディネーター養成研修……職場内研修にフィードバック



自主事業
【車いす等体験講座】に
研修としてスタッフ参加

3 自己啓発助成 (随時)

資格取得、通信教育、セミナー参加等、自己啓発に対する費用を助成

※自己啓発研修にかかる費用の助成 (令和2年度実績)

簿記2級 (1名)、衛生管理者 (1名)、メンタルヘルスマネジメントⅡ種 (3名)、公益法人会計検定試験3級 (2名)

4 職場内におけるSDGsの取組み

持続可能な消費とライフスタイルについて意識し、十分な情報を地区センター内外に発信して、SDGsの行動計画に参加できるよう取り組んでいきます。

5 その他

職員個々の知識・技能を把握し、職員が自主事業の講師を務めたり、自主事業の企画に生かしたりして、人材育成を図ります。

3 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

■ 青葉区防災計画上の位置づけ

当館はあざみ野駅に近いこと、利用部屋数が多いこともあり、区の「帰宅困難者一時滞在施設」として指定されていますので、**区と連携**をとり、緊急時に必要な体制や対応を取れるよう、実地訓練をしていきます。連合町内会長が理事・社員になっている当法人の特性から、**地域の主体的な活動**も活かしていきます。

災害時の近隣の地域防災拠点山内小学校ですが、これに次ぐ災害時の重要な地域施設として、可能な範囲で対応に努めます。

具体的には、**地元の安否確認のための拠点、地域防災拠点への中継基地、支援物資の受け取り場所**等の役割を果たすために必要な体制を整えるとともに、区の所管課と連携し、実務的な研修を定期的実施します。

■ 地域と連携した防災への取組 ～共助活動の支援拠点として

- 1 いざという時に有効に機能が果たせるよう、地域の避難所防災訓練等に積極的に参加・協力していきます。
- 2 自動販売機は、災害時の停電中でも無料で取り出せる機能を備えたものを引き続き設置します。

■ 緊急（災害、事故、事件、故障）時の対応計画

事故の未然防止や、発災時に迅速で適切な対応を取るためには、日頃の備えとしての日常点検や必要なマニュアルの整備、またスタッフミーティング時の確認、さらには関係機関を交えた訓練を重ねることが重要です。「いざ」という時に職員一人ひとりが迅速・適切に対応できるよう、以下の取組を行います。

1 「緊急時連絡網」の整備

緊急時に、館と法人事務局をはじめ、青葉区・警察・消防等関係機関を含めた連絡が迅速に取れるよう、緊急時連絡リスト及び対処方法を図示した資料を作成し、事務室内に掲示するほか、各職員が携帯し、月例の全職員ミーティングでも内容を確認していきます。

2 「緊急時対応マニュアル」の整備

緊急時は、まず「利用者」、次に「職員」の安全確保、さらに「近隣」の安全を考慮する、という方針のもと、下記の「緊急時の対応フロー図」に掲げた「危機管理対策の基本方針」の項目ごとに、「緊急時対応マニュアル」や「消防計画」を作成し、月例の全職員ミーティングでも内容を確認していきます。

3 迅速な報告・相談

施設内での事故や急病人が発生した場合は、直ちに館から「事故連絡票」を法人事務局及び青葉区の担当課へFAX送信します。必要な対応は、館と法人事務局で相談の上、青葉区と協議します。

館の利用に重大な影響が予想される事故等が発生した場合は、区との協議と並行して、利用者にお知らせするとともに、協会理事長や施設委員会の代表者に連絡し、今後の地域への対応につき相談します。

4 予防策

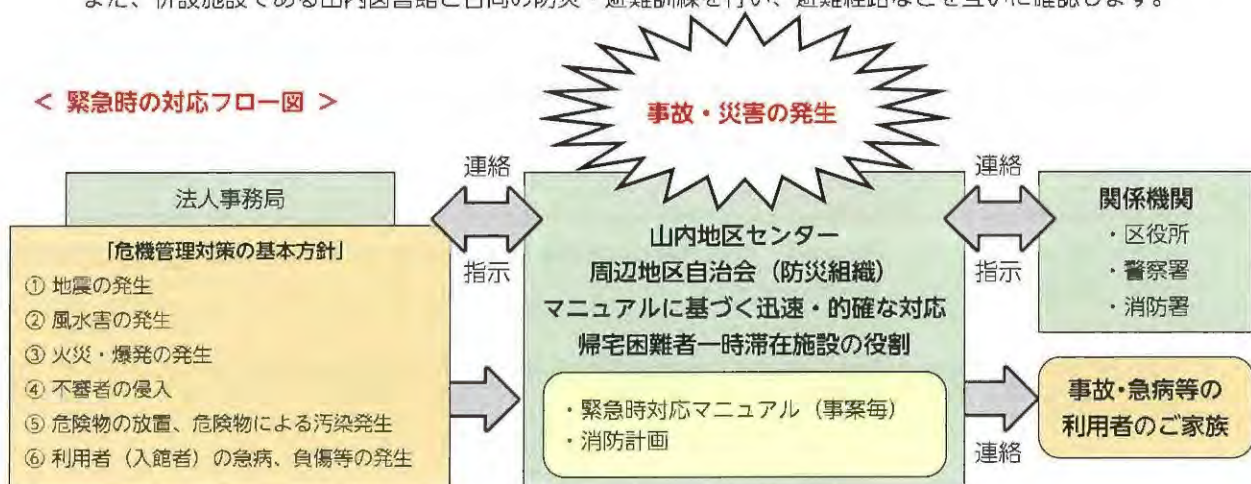
発災時の消火訓練・通報訓練・避難訓練等、緊急時を想定した訓練を、来館者も交えて実施します。

(かながわシェイクアウト運動への参加等)

運営実績の中で積み上げてきた「事故事例集」を職場研修等で活用し、日常的にはカメラによる監視や館内外の見回りを適時実施することにより、事故の未然防止に努めます。

また、併設施設である山内図書館と合同の防災・避難訓練を行い、避難経路などを互いに確認します。

< 緊急時の対応フロー図 >



4 施設の運営計画

ア 設置理念を実現する運営内容

■ 市民の「新しい生活様式」に即した、地区センター機能・役割の発揮

「地域住民が自主的に活動し、相互交流を深める場」であるという条例の趣旨に沿い、「あつまる・つながる・笑顔になる」施設運営を進めます。そして、青葉区区政運営方針にある「人と地域のつながりづくり」に向け、地域の活動団体等との連携により「地域コミュニティの醸成」、「地域の連携強化」に貢献できる、有意義で身近な場づくりを目指します。新型コロナウイルス禍のもと、これまで培ってきた実績に加え、大胆かつ新鮮な発想を生かして、新しい時代の「新しい生活様式」に即した施設運営を行っていきます。

■ 持続可能な地域コミュニティの実現に寄与

「豊かな人生に寄り添う場」として、持続可能な地域コミュニティの実現に寄与するため、次の事業を推進します。

- 自治会役員、民生委員・児童委員、青少年指導員、スポーツ推進委員など、地域のために活動している多くの方々との活動を施設の立場から支援し、また連携して地域の活性化に貢献するため、積極的な交流を図っていきます。
- 自治会・商店会や東急や市営地下鉄等の民間事業者とも連携して、SNSによる定期発信やスタンプラリー等のPR活動を展開します。コロナ禍の影響で下降気味な「まちの賑わい」を復活させるとともに、新たな顧客の開拓につなげることで、コミュニティの新たな活力を醸成します。

イ 利用促進策

■ 「満足と感動の接客」の充実

間接的なサービスだけでなく、来館を基本とした従来型の利用についても、一層の充実を図ります。

- 既存の団体・個人が、今後も安定したリピーターとして来館くださるよう、専門講師による接客・接遇研修や、備品・設備の整備等に力を入れ、ワクワク感のある快適な利用環境を維持・充実させます。
- 利用者アンケートでは例年、9割以上の方に「スタッフの対応が良い」と評価いただいております。今後も「目配り・気配り・心配り」の「3つのり」を心がけ、「満足と感動の接客」に一層努めていきます。

■ 夜間利用によるサラリーマン等の社会参加促進

○これまで利用の少なかったサラリーマンやOL、若者などが、仕事や学業の帰途等に、気軽に参加しやすく、楽しんで役に立つ事業を実施します。

具体例①	簿記会計の基礎やアロマテラピー講座、ビジネスやサイドワークに役立つ、日常生活を豊かにする講座
具体例②	名刺交換会や、リモート通信機能を活用した異業種交流会など、利用者にとって、新たなネットワークの構築に生かせる事業
具体例③	ナイトコンサートや、落語・講談・語りの会等の開催
具体例④	ビジネスや趣味に役立つ「Wi-Fi活用体験イベント」の実施

■ サークル体験・親子参加型事業の実施や、子育て情報コーナーの設置

○新たな顧客開拓のために、既存の利用団体の協力のもと、サークル参加体験イベントを開催します。

○プレイルームを訪れる親子連れが、より気軽に日常的に足を運びやすいよう、青葉区の子育て支援拠点「ラフル」などの協力を得て、親子向けの交流会・子育て相談会を開催するほか、青葉区役所と連携して、幼稚園や保育園、子どもの遊び場などに関する「子育て情報コーナー」を新設します。

○近隣の地域ケアプラザとの共催による健康づくり講座や、多世代交流事業を進めます。

■ PRの充実

○ホームページやSNS（ツイッター）による広報・PRを強化するほか、広報紙「センターだより」をリニューアルし、読んで役立つ情報を掲載します。

○地域のFM・ミニコミ誌等の媒体をさらに活用し、自主事業等のPRを積極的に行っていきます。

4 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について

■ 利用料金等徴収の基本的な考え方

○現在の利用料金は平成17年7月から実施されており、利用者にも広く周知され定着しているため、この料金を継続していきます。

【施設利用料金表】(1コマ3時間。現在は料理室及び日曜・祝日の午後②の時間帯のみ2時間)

室名	利用料金 (3時間)	利用料金 (2時間)	単価 (1時間あたり)
会議室1	480円	320円	160円
会議室2	750円	500円	250円
会議室3A	180円	120円	60円
会議室3B	420円	280円	140円
工芸室	570円	380円	190円
音楽室	1,020円	680円	340円
和室 (1室あたり)	420円	280円	140円
広間	1,080円	720円	360円
集会ホールA	1,530円	1,020円	510円
集会ホールB	900円	600円	300円
集会ホールC	990円	660円	330円
レクホール	690円	460円	230円
料理室 (2時間単位)	設定なし	480円	240円

■ 部屋の使い方などに基づく利用率の向上

○Wi-Fiの活用による複数の部屋の有効利用

「三密」を避けるために利用人数を制限することにより、従来可能だった団体の活動が制約を受けるケースが多くなっており、稼働率の低下に影響を及ぼしています。

現在は1階のロビーでのみ使用可能なWi-Fiを、全館的に使用できるよう整備することにより、3階の複数の部屋、あるいは1階と3階の部屋を同時に使って相互にリモート通信をしながら活動するというような、**これまでになかった利用ニーズにも対応**できるようにします。

○感染防止のための設備・備品の充実

新型コロナウイルス感染の危険を軽減し、**安心・安全に利用いただける環境をより一層整える**ことで、継続的な施設利用を促進します。

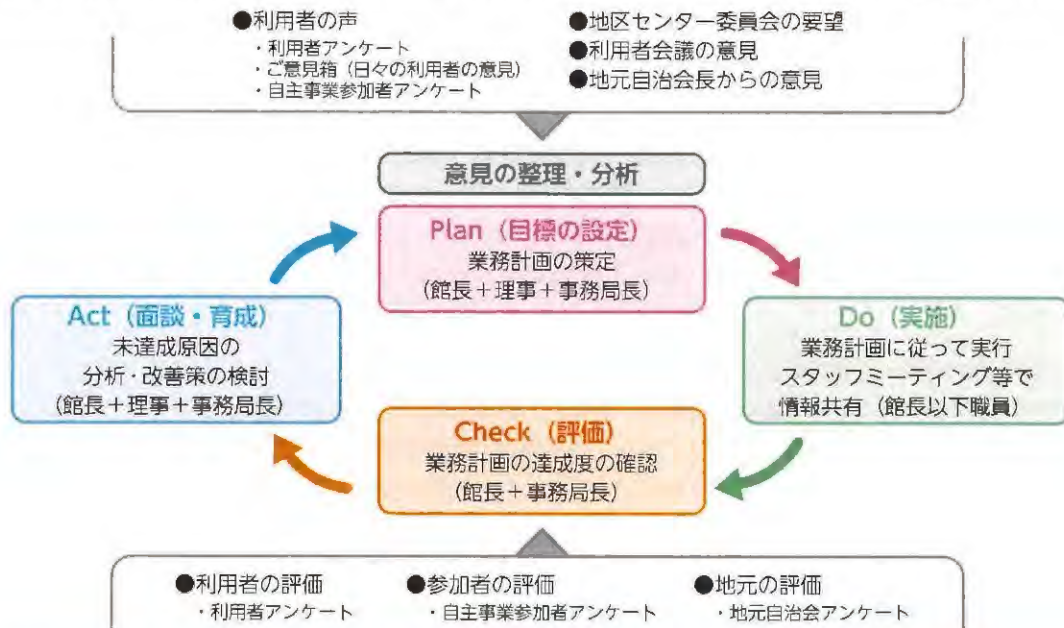
- ・すべての洗面所の水栓を自動化します (現在は1階トイレのみ)
- ・各部屋の照明スイッチを廃止し、人感センサーを設置します。
- ・貸出用の可動式パーテーションを増やし、各部屋で有効に使えるようにします。
- ・入館口に、自動検温器や非接触型消毒ディスペンサーを設置します。
- ・Wi-Fiを活用して、互いの距離を確保しつつコミュニケーションが取れる環境をつくります。

4 施設の運営計画

エ 利用者等ニーズの把握と運営への反映

PDCAサイクルを意識した施設運営

地区センター委員会や利用者会議、利用者の声、地元自治会長からの意見を反映した施設運営を行っていきます。



オ 利用者サービス向上の取組

■ 「接客ハンドブック」を活用したCS (顧客満足)・CD (顧客感動) の取組

協会オリジナルの「接客ハンドブック」を活用し、外部の専門講師による研修も加えて、接客の一層のスキルアップと、ホスピタリティの向上に努めていきます。「笑顔、挨拶、迅速かつ丁寧な対応」に努め、「目配り・気配り・心配り」の「3つのり」を常に心がけて、顧客満足・顧客感動のレベルアップを図り、「利用者から一層愛される山内地区センター」となることを目指します。

サービス向上の具体例

- 利用者が、ロビーだけでなく各部屋でも多様な活動に利用できるよう、Wi-Fi環境整備を拡充します。
- 利用料金の支払が迅速かつ簡便に済み、スタッフの作業軽減も図れるよう、自動レジスター等の導入を検討します。
- 高齢者や障がい者、乳幼児連れの方、外国人など、困っている人がいたらすぐ行動できるやさしい「こころづかい」の受付ができるよう、ユニバーサルマナー検定受講者による職場研修を実施します。
- 認知症の方への適切な対応ができるよう職員全員が認知症対応研修 (認知症サポーター養成講座) を受講します。

教育機関との連携協力

若年層が地区センターの活動に関わる機会を増やすことは、将来の利用者の確保のみならず、地域教育の向上という面からも、大切な事柄です。

従来型の職業体験学習やボランティア活動の受入は、コロナの影響で困難になっていますが、青葉区の校長会やPTA組織等と協働し、今後の連携協力のあり方を考えていきます。そうした関係性を通じて、施設の魅力と有効性を若年層にも浸透させる契機にしつつ、相互理解をより深めて、施設運営の改善に生かしていきます。

さらに、ICTを活用した教育の推進について、校長や教員と共同して取り組みます。

カ ニーズ対応費の使途について

徴収した利用料金の約3分の1 (2019年度は約232万円余) の金額を目安に、感染防止対策を主軸とした設備・備品の改善・充実を図っていきます。利用者アンケートや利用者会議でのご意見に基づき、使途と優先順位とを決め、予算の範囲内でバランス良く計画的に執行していきます。

4 施設の運営計画

キ 本市重要施策に関する取組

■ 新型コロナウイルス感染リスクへの対応

新型コロナウイルス感染のリスクは今後も長く続くであろうことが予想される中で、「新しい生活様式」に即した施設利用のあり方を基本として、検温・消毒・換気など衛生管理の徹底、対面密集空間を作らない運営方法の徹底により、利用者や職員にとって安全・安心な施設管理を維持していきます。

■ 情報公開・人権尊重・障がい者対応の取組

- 個人情報保護や情報公開、人権尊重の意識向上を図るため、毎年、職員全員研修実施しています。
- 認知症の方への適切な対応ができるよう、「認知症サポーター養成講座」や介護の基礎講座等を開催しています。
- やさしい「こころづかい」の受付対応への取組として、ユニバーサルマナー検定受講者による職場研修を実施します。
- 視覚障がい者を始め誰もがアクセスしやすい「ウェブアクセシビリティ基準」に適合したホームページを作成しています。

■ 市内事業者の成長・発展への寄与

横浜市中小企業振興基本条例の趣旨を尊重し、修繕・工事等の発注や、物品の購入・メンテナンス等にあたっては、地元業者への優先発注を原則としています。また、地元商店会や商工業団体、鉄道事業者などと連携し、区民活動や地域の活性化に寄与する事業（共同キャンペーンイベントや、近隣施設間スタンプラリーなど）を企画実施します。

■ 低炭素・循環型のまちづくり

「ヨコハマ3RMプラン」に基づき、ルート回収への参加など「ごみゼロ」の環境行動を推進します。ごみ分別・持ち帰りの徹底、施設内美化活動、ペットボトル・キャップの分別やインクカートリッジ回収、古本リユース等への協力を通じて、市民の環境保護意識向上の啓発に努めます。

また、省エネにも効果の高い、館内全体の照明のLED化を、さらに進めていきます。

■ 地域読書活動の推進

山内図書館が併設されている利点を生かし、読書を通じた市民文化の向上を目的とする「青葉区読書のまちづくり」を推進します。山内図書館との共催事業「おはなしフェスティバル」への参画や、区内の読書活動団体との定期的な協議の場への参加を継続して行い、子どもの読書習慣の定着を図ります。

■ 健康で自立した生活の継続

「よこはま笑顔プラン」(第4期横浜市地域福祉保健計画) 青葉区計画に沿い、多世代にわたる地域住民の健康づくり・生きがいづくりや、健康寿命を延ばす取組・活動を進めます。コロナ対応のため参加人数を制限しつつ、これまでも人気の高い事業や啓発講座等を引き続き行っていきます。

- 「高齢者健康体操」や「初心者卓球教室」等の開催
- ピンクリボン・オレンジリボン（乳がん予防・認知症サポート）等の運動の啓発活動
- 様々な健康づくり教室の開催（ヨガ、ダンス、ウォーキング、インテスタージュ等）

■ 子ども・子育て支援の推進

区役所や関係部局・団体等と連携し、子育てしやすいまちづくり・地域づくりに資するため、親子参加型イベントや子育て情報コーナーの設置を行うほか、福祉施設や区役所等と連携した「ヤマリンの部屋」など、親子・多世代で参加・交流できる事業を実施していきます。

■ 危機対応力の強化・防災意識の向上

家庭や地域での災害対応力を強化するための防災講座や、不審者対応等の危機管理研修、感染症対策講座など、生活上の安心や地域での安全につながる講座・催事を実施していきます。

また、個々の利用者の防災意識の一層の向上を図るため、「かながわシェイクアウト運動」への参画等により、利用者参加型の避難訓練を実施します。

5 自主事業計画

山内地区センターはこれまで、地域に愛され、親しまれ、誰もが安心して気軽に立ち寄れる地区センターとして、子育て世代や高齢者等、幅広い層の心と体の健康を応援する自主事業を展開してきました。東急と市営地下鉄が乗り入れる「あざみ野駅」から徒歩3分という抜群の立地と、利用者数・登録団体数の多さを活かし、今後も、より多くの人々の健康で豊かな生活に寄与する講座を実施していきます。

■ 地域の居場所づくり	事業例
<p>【地域コミュニティ推進事業】 だれもが気軽に楽しく利用できる施設を目指して、地域の交流の場を創っていきます。幼児や高齢者など、各世代を対象とした事業や、世代間の交流を促進する事業などを、多岐にわたって提供していきます。</p> <p>また、地域の方々が気軽に集える場として、ロビーコンサート等を開催していきます。</p>	  <p>■青葉おはなし フェスティバル</p> <p>■おりがみの時間</p>
<p>【健康推進事業】 健康維持に関する情報提供や、健康な環境づくりへの意識を高め、人々が自ら健康づくりに積極的に取り組んでいけるような事業を提供していきます。</p> <p>また、健康づくりを支援する団体の活動をサポートしていきます。</p>	<p>■高齢者健康体操</p> <p>■初心者卓球教室</p> <p>■ノルディックウォーキング</p>
<p>【生涯学習事業】 学びを通じて、人と人、人と地域とのつながりを育みます。学習によって得られた絆を大切に、それぞれの目的に沿って自発的に生まれるグループやサークルの活動を支援します。社会人のためのスキルアップ講座などを中長期にわたって開催し、夜間利用の促進と同時に新規利用層の開拓に取り組みます。</p>	<p>■FPによるくらしと「お金」シリーズ</p> <p>■英語で世界の料理</p> <p>■e-ネット安心講座</p>
<p>【障がい者・外国人の活動支援事業】 障がい者や外国人をサポートしている活動団体と連携して、地域での活動（学び・趣味）の拡充を支援する講座を企画したり、学習の成果を発表する場を提供します。</p>	 <p>■外国人による日本語スピーチ大会</p>
■ 地域を担う人材の発掘・育成	事業例
<p>【人材の発掘・育成事業】 地域の人材発掘・育成に向けた講座を企画し、参加者の地域デビューのきっかけを提供していきます。特に地域のニーズや課題を意識し、男性の地域での活動を目的とした事業や、子どもから高齢者までが地域ボランティアとして気軽に活動に参加できるような事業を企画します。</p>	<p>■プロから教わる介護の「いろは」</p> <p>■防災コーディネーター養成講座</p> <p>■認知症サポーター養成講座</p>
<p>【小学生対象事業】 地域の子どもたちが、学校では体験できない経験ができるように、夏休み・冬休みを中心に講座を開催します。地域で活動する講師の方と関わり、学校・家庭以外での大人と触れ合える、多世代交流の場にしていきます。</p>	<p>■小学生将棋教室</p> <p>■科学実験教室</p> <p>■おもちゃの病院</p>
■ 他施設・活動団体との新たな連携・協働企画	事業例
<p>【地域連携事業】 横浜市の施策や地域課題を意識し、他の施設や活動団体の特色を活かした協働企画を、定期的で開催します。市や区の推進事業を他施設と協力して開催します。また、団体や施設同士の交流ができる事業を展開します。</p>	<p>■青葉国際交流ラウンジ共催企画</p> <p>■地域ケアプラザ共催企画</p> <p>■登録団体による共催企画</p>
<p>【学校連携事業】 近隣の大学や高校と連携し、それぞれの学校の特色を活かした講座を実施することで、地域コミュニティでの交流を活発にします。学校への理解を深めると同時に、学生に発表の場を提供して、地域の人材育成につなげます。</p>	<p>■桐蔭学園高校室内楽部コンサート</p> <p>■サイエンスフロンティア高天文教室</p> <p>■日本体育大学ミニサッカー教室</p>
<p>【横浜市民施設協会連携事業】 区内の複数館を運営している当協会のスケールメリットを活かし、それぞれの館を拠点とした事業を開催します。また「ピンクリボンかながわ」との共催で乳がん早期発見の啓発活動を各館リレー形式で展開し、社会貢献にも参画します。さらに、フィリアホールとの連携により、無料コンサートの開催や、地域の若手アーティストの発表の場を提供していきます。</p>	<p>■ピンクリボン活動を知ろう！</p> <p>■フィリアホール共催コンサート</p> 

6 施設及び設備の維持管理計画

基本的な考え方

山内地区センターは、横浜市山内図書館と併設されているため、施設及び設備の維持管理については、業務を分担していますが、その管理区分に従い、次のように施設の管理をしていきます。

- 職員による日常の点検・清掃と地域サポーターによる植栽・修繕、専門業者による定期点検・保守を堅実に行うと共に、感染予防対策の徹底により、お客様や職員が**安全・安心かつ快適に利用できる環境**を維持します。
- 故障や事故が発生した時は、法人事務局や区役所と共有を図りながら、お客様にご不便をおかけしないよう迅速に対応していきます。
- 市民施設協会として、各施設における施設・設備の修繕の必要性や緊急度を見極めた中期修繕計画・保全計画を作成し、スケールメリットも生かして財源の確保に努めます。
- 各施設では、日頃の点検・保守の結果に基づいた早目の修繕を行うなど、施設及び設備の長寿命化を図っていきます。日常点検で気づいた不具合については、具体的な内容や写真により記録を残します。

■ 日常点検・巡視、清掃 ～職員による

- 日常業務の一環として、「施設維持保全の手引き」等に基づき、日常点検・巡視を毎日行います。
- 建物内に不具合がないかを常に確認し、早期の発見と対応を心がけます。
- 点検は、チェックリストを活用して確実に行うとともに、異音・異物等に留意し、日常業務の経験を踏まえた微細な違和感を看過せず、適切な点検に努めます。目視点検では、視線を上下左右に移動させ、広範囲にわたり見落としのないよう、十分な注意を払います。
- 利用者の皆様に対して、利用後に職員から「施設・設備に関して何か不具合はありませんでしたか？」などと声掛けをして、職員が気づかなかった点についても迅速に対応するよう努めます。
- ご利用の皆様が気づいた点を気軽にお申し出いただけるような雰囲気づくりをするとともに、「お客様の声」記載用紙をロビーに設置するだけでなく、メール等の方法も含めて、サイレントマジョリティの方々の思いを汲み取るよう努めます。こうして多面的な情報収集を積極的に行い、問題の早期発見と早期の解決・改善につなげます。
- 冷暖房の適切な温度設定について、ご利用の皆様のご理解・ご協力をいただくとともに、空室時の消灯や窓際のカーテン閉めの徹底などにより、日常管理を通じた省エネルギー対応に努めます。

■ 地域サポーターによる清掃・修繕

- 地域のスキルを持った方々に協力をいただき、植栽や修繕等を実施します。

■ 定期的な清掃の委託 ～専門業者による

- 月に1回、館内の全館清掃とワックス掛けを専門業者に委託し、清潔できれいな施設を維持します。

■ 修繕

- 必要な修繕は、複数業者の見積りを取得しヒアリングを行うなど、適切な業者選定・契約に努めます。
- 大規模な修繕が必要な場合は、区・局に早期に相談をして、計画的に対応が図られるようにします。

■ 経費削減の取組

- 館独自の「省エネ指針」を作成し、地球温暖化対策に取り組むとともに、経費削減にも努めます。
- 令和元年度には、1Fトイレの手洗い場を自動水洗に交換し、止水漏れによる水道代の節減を図ったほか、日常的に、冷暖房の調整をこまめにするなどで電気代の節約に努めています。今後も、感染予防対策を兼ねて、自動水栓化の推進等を図っていきます。
- 集会ホールの縦型ブラインドをすべて防災遮熱性の高いレースのカーテンに変更し、外気の温度に左右されにくい室内環境を維持することで、光熱費の削減につなげています。
- 小破修繕は、職員が率先して対応するよう努めます。

7 収支計画（収入計画）

ア 収入計画の考え方について

- 1 収入については、①横浜市からの指定管理料、②自主事業収入、③雑収入、をすべて合算し、計画的な運営に充てています。
- 2 当法人は、公益法人として健全なで安定的な運営が継続できるよう、収入の確保に取組みます。
 - 1 指定管理料
青葉区役所との協定に基づき、適切に管理するとともに、年に4回、運営状況を報告していきます。
 - 2 自主事業収入
原則として、材料費や講師謝金の経費に見合う金額を参加者負担として徴収し、自主事業全体の中で収支の均衡を図ります。仮にそれがプラスになる場合は、利用者に還元していきます。
 - 3 利用料金収入
日々の利用料金の積み重ねは、安定的な収入の基礎となるものであり、様々な工夫によって、施設の稼働率向上に努めていきます。
 - 4 雑収入（自動販売機手数料、印刷代金など）
利用者サービスの一環として、災害など非常時にも使える飲料用の自動販売機を設置し、手数料を館の収入とします。
地域の皆様にも利用していただける印刷機（リソグラフ）やカラーコピー機を設置し、実費相当を徴収します。
- 3 寄附金収入
公益法人としての存在を広くPRするとともに、寄附者に対する優遇税制を活かし、法人の活動内容等を支援してくださる方々からの寄附を募り、施設の管理運営を含む法人活動に役立てていきます。
- 4 新型コロナウイルス禍のような予期せぬ事態が起きた時には、雇用調整助成金をはじめとする助成制度を積極的に活用し、資金確保に努めます。

イ 増収策について

■ 部屋の稼働率アップ

Web予約の一層の普及や、複数の部屋の同時利用の促進を図るほか、利用の頻度に応じてポイントが溜まり特典が得られる「利用ポイント制度」の導入検討などを進めます。

■ 「寄附へのお願い」の取組など

横浜市民施設協会は、寄附をした個人や法人に対する税制優遇措置が受けられる団体として公益法人の認定を受けています。公益法人は、会費と寄附も重要な収入源です。「寄附へのお願い」を、広くホームページやチラシなどで個人や法人にPRしていきます。

■ 収入計画の積算根拠（令和2年度補正後見込）

収入項目	予算額（千円）	積算根拠
利用料収入	9,339	令和3年度予算
自主事業収入	877	同上
自動販売機手数料	1,173	同上
印刷代等	293	同上
合計	11,682	

7 収支計画（支出計画）

ウ 支出計画の考え方について

■ 基本的な考え方（特徴・独自性・実現性）

- サービスの維持・向上を基本に、必要な経費を確保したうえで、経費の節減を進めます。
- 多数の施設を管理運営するスケールメリットを活かした施設協会全体としての効率的な執行や管理運営方法の工夫により、健全で安定的な運営が継続できるよう取り組みます。
- 業務改善を進め、効率的な事務執行により、コストの削減を図ります。
- 経費のチェック体制を強化し、無駄な経費を抑制します。

■ 経費削減の取組

◎ 共通物品の在庫管理の徹底

コピー用紙、プリンター用紙等の全館共通物品については、複数館を管理しているスケールメリットを活かして在庫管理を徹底し、経費を抑えます。

併せて、感染症対策にかかる衛生用品についても在庫管理の徹底により経費削減に努めます。

◎ 委託業者の適切な選定

委託業者の選定にあたっては、複数の事業者を対象に価格や業務内容のヒアリングを行い、経費の削減を含め、適切な選定に努めています。

◎ 事務経費の抑制

事務経費（事務局本部経費）については、事務の一元化・効率化に必要な最低限の金額を確保することとし、指定管理料の全てを有効な施設運営に充てることを目標として、抑制を図ります。

また、コピー用紙、ちらし、ポスター等の裏面利用等を引き続き進めていきます。

◎ 職員による日常管理の取組

植栽（主に中低木）は、職員がこまめに手入れすることで、専門業者への委託費用を抑えます。

また、小破修繕や簡単な工作等は、可能な限り職員が行うようにしています。

◎ 省エネ指針の作成と取組

施設の特徴に応じて省エネルギーの取組をまとめた「省エネ指針」を作成し、それに基づいて節水や消灯、温度管理などの取組を、利用する皆様のご理解ご協力をいただきながら進め、経費の削減を図ります。

8 新型コロナウイルス感染症等にかかる対応

■ 基本的な考え方

- 1 「利用者へ安心・安全にご利用いただく」ことを最優先に、横浜市のガイドラインに沿って、適宜的確に新型コロナウイルス感染対策を講じながら運営していきます。
- 2 地域の活動拠点といった役割を引き続きになっていくため、新しい時代の「新しい生活様式」に即した施設の運営を目指していきます。
- 3 地域における「共助」の取組をバックアップし、健康かつ安心・安全で豊かな地域社会をつくり市民の自発的な活動を切れ目なく支援できるよう、従来の実績に加え、新たな発想を生かして取り組んでいきます。

■ 具体的な取組

1 具体的な感染症拡大防止対策

- ・ 専門家の消毒方法の指導に基づき館内に設置の消毒薬・ハンドソープ等を、非接触型ディスペンサーに交換
- ・ 入口部分で手指消毒と同時に自動検温できる器械を設置
- ・ 各部屋にアルコールを設置するとともに、利用時間を調整し十分な換気を確認
- ・ 館内各所にパーテーション、受付にパーテーションを設置
- ・ 利用者貸出用の「可動式パーテーション」を施設で用意
- ・ 洗面所の手洗いを全面自動水栓化（蛇口を非接触化）

感染症対策の取組



2 自主事業開催の工夫

- ・ 参加者数を定員の50%に制限し、1回ごとの時間を短縮して複数回実施することで、利用者の参加機会を確保しつつ「三密」を避けるように工夫
- ・ 利用団体の作品・活動発表の動画・静止画をオンラインで定期的に発信
- ・ 講座のリモート開催……実施施設に来なくても、多くの方が自宅や他の地区センターで受講可能に
- ・ 各施設で実施・作成した自主事業動画専用のHPをつくり、好きな講座を自由に視聴できる環境を整備

3 利用料金収入減への対応策

- ・ 個人利用の予約条件を緩和（7日前から予約可能に）
- ・ 感染症拡大防止対策を徹底し、安心・安全に利用できる環境を充実させることで、利用者の不安を軽減し、継続的な施設利用を促す
- ・ 無線LAN（Wi-fi）の整備により、リモートを活用したサークル活動を可能にする
- ・ PRの強化
 - ①ホームページ、SNS、地域のFMやミニコミ誌への積極的な情報提供
 - ②小中校長会やPTA会合等でのPR、福祉施設等への出張PRなど
- ・ デジタルサイネージを活用した地域情報の発信により、新しい来館者を増やし、寄附などによる支援をお願いする（寄附金収入増）。
- ・ リモート発信やYouTubeの撮影場所としての部屋貸出を推進

4 感染防止の観点を踏まえた予約受付の提案

- ・ 直接の現金授受をなくすキャッシュレス決済の導入（自動レジスター、プリペイド方式等の導入）
- ・ 窓口において口頭での利用説明をできるだけ減らし、フリップや画像・音声で対応
- ・ WEB予約しやすいよう受付時間を前倒し、来館による申込みからの移行促進（感染症対策・利用者負担軽減）
- ・ WEB予約を推進するため、利用者用に「予約方法説明会」をスマホ講座として実施

5 インターネットを活用した情報受発信の推進

- ・ 地域の知識・経験が豊富な方を講師にした講座を開催し、操作方法や取扱いに不慣れな方を支援します。併せて、インターネットに不慣れな方に情報をお届けするため、自治会回覧等による紙媒体での情報提供も継続します。

横浜市山内地区センター自主事業計画書

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
地域の居場所づくり							
おりがみの時間	小学生～一般	18,000	18,000	0	15,000	3,000	0
	定員なし						
	無料						
囲碁・将棋の日	小学生～一般	0	0	0	0	0	0
	定員なし						
	無料						
青葉おはなし フェスティバル	幼児～一般	15,000	15,000	0	0	5,000	10,000
	定員なし						
	無料						
おはなしやびっころ おはなし会	幼児～一般	12,000	12,000	0	12,000	0	0
	定員なし						
	無料						
地域ケアプラザ共催事業 ヤマリンの部屋	幼児～一般	5,000	5,000	0	0	5,000	0
	定員なし						
	無料						
高齢者健康体操 レクリエーション	60歳以上の男女	710,000	10,000	700,000	450,000	110,000	150,000
	100名×2コース						
	3,500円						
初心者卓球教室 (春・秋)	一般	152,000	12,000	140,000	144,000	0	8,000
	20名×2回						
	3500円×2回						
外国人による 日本語スピーチ大会	一般	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	50名						
	無料						
ノルディックウォ-キングを 始めよう!	一般	5,000	5,000	0	0	3,000	2,000
	20名						
	無料						
山内楽笑寄席	一般	12,000	12,000	0	10,000	2,000	0
	150名						
	無料						
e-ネット安心講座	大人	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	20名						
	無料						
ハーブを使った癒しの 時間	一般	18,000	0	18,000	6,000	10,000	2,000
	12名						
	1500円						

横浜市山内地区センター自主事業計画書

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
びんしゃんウォーキング	一般	10,000	0	10,000	6,000	4,000	0
	20名						
	500円						
英語で世界の料理	一般	30,000	0	30,000	10,000	15,000	5,000
	15名						
	2,000円						
青葉FPくらしの会 「くらしとお金シリーズ」	一般	16,000	7,000	9,000	15,000	0	1,000
	20名×3回						
	300円×3回						
みんなで踊ろうフラダンス	親子	11,000	1,000	10,000	6,000	3,000	2,000
	10組						
	1,000円						
陽活でアンチエイジング	一般	10,000	0	10,000	6,000	3,000	1,000
	20名						
	500円						
クリスマスコンサート	一般	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	100名						
	無料						
地域を担う人材の発掘・育成							
認知症サポーター 養成講座	一般	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	30名						
	無料						
プロから教わる介護の いろは	一般	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	20名						
	無料						
防災コーディネーター 養成講座	一般	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	30名						
	無料						
ロビーコンサート	幼児～一般	12,000	12,000	0	10,000	2,000	0
	定員なし						
	無料						
わんぱくオセロ大会	小学生	3,000	0	3,000	0	3,000	0
	30名						
	100円						
母の日に贈るポップアップ カードを作ろう	小学生	6,500	2,000	4,500	4,000	2,500	0
	15名						
	300円						

横浜市山内地区センター自主事業計画書

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
パパと一緒にクッキング	小学生	12,000	4,000	8,000	4,000	8,000	0
	8組						
	1,000円						
ボトルシップを作ろう!	小学生	20,000	6,000	14,000	6,000	14,000	0
	20名						
	700円						
小学生将棋教室	小学生	21,000	7,000	14,000	7,000	14,000	0
	20名						
	700円						
科学実験教室 (夏休み・秋)	小学生	10,000	0	10,000	6,000	4,000	0
	25名						
	400円						
おもちゃの病院	小学生	3,000	3,000	0	3,000	0	0
	20名						
	無料						
日本の伝統文化を 楽しもう!	小学生	8,000	8,000	0	3,000	5,000	0
	20名						
	無料						
プログラミングに挑戦!	小学生	10,000	4,000	6,000	4,000	6,000	0
	20名						
	300円						
みんなで書き初めIN山内	小学生	8,000	2,000	6,000	5,000	3,000	0
	20名						
	300円						
バレンタインの お菓子作りを楽しもう	小学生	10,000	4,000	6,000	4,000	6,000	0
	20名						
	300円						
他施設・活動団体との連携・協働企画							
<ボーイズクラブ共催> 大人のレクチャーシリーズ	一般	3,000	3,000	0	0	3,000	
	30名×3回						
	無料						
桐蔭学園高等学校室内楽部 サマーコンサート	子ども～一般	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	50名						
	無料						
日体大FIELDSと ミニサッカー体験	親子	13,000	3,000	10,000	10,000	3,000	0
	20組						
	500円						

横浜市山内地区センター自主事業計画書

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
<地域ケアプラザ共催> みんなで脳活レク!	60歳以上	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	50名						
	無料						
<青葉国際交流 ラウンジ共催> 英語でヨガ	女性	10,000	0	10,000	0	5,000	5,000
	20名						
	500円						
<フィリアホール共催> ロビーコンサート	一般	12,000	12,000	0	10,000	2,000	0
	定員なし						
	無料						
<施設協会コラボ・ フィリアホール共催> フィリアホールで手作り 楽器を演奏しよう!	小学生	6,000	0	6,000	3,000	3,000	0
	20名						
	300円						
<横浜サイエンス フロンティア高校共催> 夏休み天文教室	小学生	2,000	2,000	0	0	0	2,000
	15名						
	無料						
<施設協会コラボ・ ピンクリボンかながわ共催> ピンクリボン活動を知ろう!	一般	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	定員なし						
	無料						
合計		1,224,500	200,000	1,024,500	774,000	257,500	193,000

横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

■地域の居場所づくり

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【地域コミュニティー推進】 おりがみの時間	年齢に関係なくどなたでも参加しやすい折り紙講座を開催し、山内地区センターを、地域の方に気軽に来館いただける憩いの場とすることが目的です。ボランティア講師の協力を得ながら、季節に合い、初心者でも折ることが出来る作品を用意し、教わった折り方を、別の方に教え、生徒から講師に参加者も立場を変えていくスタイルが特徴です。この事業は参加費無料です。当日直接会場に来ていただくことで、気軽に参加できます。	毎月 1回 
【地域コミュニティー推進】 囲碁・将棋の日	囲碁・将棋を通して、地域の男性が外に出やすい場を用意することが目的です。小学生からシニアの方までの交流の場になっており、お互いの技術を磨くことが出来る場です。この事業は参加費無料です。当日直接会場に来ていただくことで、誰でも気軽に参加できます。	毎月 1回 
【地域コミュニティー推進】 青葉おはなしフェスティバル	読書活動団体と図書館との連携を支援し、地域の読書推進活動を促進することが目的です。山内地区センターが主催し、毎月の運営委委員会で準備を進めていきます。お話フェスティバルの当日は、幼児からシニアまで楽しめます。大人向けの語りや、幼児向けの人形劇など、部屋ごとに工夫し地域の方に人形劇・読み聞かせの楽しさを実感していただきます。 連携施設・団体 ・青葉おはなしフェスティバル実行委員会 ・山内図書館	11月 1回 
【地域コミュニティー推進】 おはなしやぴっころおはなし会	プレイルームに遊びにきている親子を対象に、絵本の読み聞かせ、手遊び、歌、を楽しみます。地域のおはなし団体である「おはなしやぴっころ」が、季節にあった絵本や歌を選んでお届けします。一人で座ってられない子も、プレイルームのおもちゃで遊びながら参加できます。	毎月 1回 

横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会



■地域の居場所づくり

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【地域コミュニティ推進】 ヤマリンの部屋	地域の人たちが年齢を問わず、集まりつながれる場として開催します。大場、美しが丘、たまプラーザの3つの地域ケアプラザと山内地区センターが協力して、昔遊びを楽しむなど地域の子どもたちと大人や高齢者との異世代交流を実現します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">連携施設・団体</div> ・大場、美しが丘、たまプラーザ地域ケアプラザ	毎月 1回 
【健康促進事業】 高齢者健康体操 レクリエーション	健康を維持すること、地域の交流の場所として役立つことが目的です。青葉区在住の60歳以上の高齢者に向けて、健康促進や、認知症予防を兼ねた健康体操とレクリエーションなど、工夫を凝らした運動を行います。毎回、班ごとに準備等を手伝っていただくことで、仲間意識や講座に対する愛着が生まれる工夫をしています。年間33回曜日別2コースを、各100名単位で行う人気の講座です。	通年 33回 
【健康促進事業】 初心者卓球教室	健康促進や体力維持と、仲間づくりの場としての役割を目的にしています。年齢に関係なく始められるスポーツとして、20代～80代の方が同じ教室で学びます。山内地区センターでは、卓球を個人で利用できる時間があることから、参加者同士で教室の予習・復習ができ、また、終了時には事後サークルを設立し継続することができます。	6月 6回 12月 6回 
【外国人の活動支援】 外国人による 日本語 スピーチ大会	青葉国際交流ラウンジとの共催で行われる、日本で生活する外国人による日本語でのスピーチ大会です。スピーチ大会という発表の場がある事で、より一層熱心に日本語の勉強に取り組む事ができます。日本で生活する外国人の幅広い活動への支援につながります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">連携施設・団体</div> ・青葉国際交流ラウンジ	11月 1回 

横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

■地域の居場所づくり

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>【健康促進事業】</p> <p>ノルディック ウォーキングを始めよう!</p>	<p>高齢者の健康促進を目的に、腰痛予防や肩こりなどに効果が高いポールを使用したウォーキングを体験していただきます。地域で活躍している「横浜北ノルディックウォーキング振興会」が、基本の歩き方やストレッチの方法などを、丁寧に指導します。後日、興味がある方は、「横浜北ノルディックウォーキング振興会」が定期的に開催するウォーキングに参加することもできます。</p> <p>連携施設・団体</p> <p>・横浜北ノルディックウォーキング復興会</p>	<p>11月 3回</p> 
<p>【地域コミュニティー推進】</p> <p>山内楽笑寄席</p>	<p>地域で活躍する「楽笑友の会」による寄席です。落語はもちろん、講談、腹話術、マジックまで、皆様に無料で本格的な寄席を楽しんでいただけます。</p>	<p>3月 1回</p> 
<p>【生涯学習事業】</p> <p>e-ネット安心講座</p>	<p>インターネット初心者がトラブルに巻き込まれないようにするために、具体的な事例と対処方法を学ぶ講座です。特に小中学生にはじめてスマホを持たせる保護者向けに子どもをネットトラブルから守るための指導方法を紹介します。</p> <p>連携施設・団体</p> <p>・NPO法人 情報セキュリティフォーラム ・青葉ぱそこん横丁</p>	<p>3月 1回</p> 
<p>【生涯学習事業】</p> <p>ハーブを使った癒しの時間</p>	<p>ワーキングママにも参加していただける、お仕事帰りの癒しの時間を提供する講座です。ジャパンハーブソサエティ上級インストラクターが、リラックスするためのハーブの活用法や、ハーブを使った簡単なお料理などを紹介します。仕事帰りに心身ともにリラックスして頂けるよう、平日の夕方に開催します。</p>	<p>6月 1回</p> 

横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会




■地域の居場所づくり

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【健康促進事業】 ぴんしゃん ウォーキング	100歳まで自分の足で歩ききる事を目指し、歩きの「質」にこだわった室内でのウォーキングの講座です。たくさん歩けなくても、正しい姿勢を覚えて質の高い歩きをすれば大丈夫です。「ぴん」とした気持で「しゃん」として歩くのが「ぴんしゃんウォーキング」です。若い方から高齢者まで自分のペースで参加できます。	5月 1回 
【生涯学習事業】 英語で世界の料理 協力団体 ・青葉国際交流ラウンジ	「英語を学ぶ」のではなく「英語で学ぶ」講座へのリクエストに応じて、青葉国際交流ラウンジの外国人講師が故郷の味を教えます。お店では出会えない世界の家庭料理を簡単な英語で教えていただきます。	2月 1回 
【生涯学習事業】 あおばFPくらしの会による 「くらしとお金」シリーズ 連携施設・団体 ・あおばFPくらしの会	地域の方が気軽に未来の資産運用・終活・保険等についての情報収集ができる場の提供を目的とします。銀行・包括支援センター・建築等のOBが、得意分野の生活に必要なライフプランを紹介します。事業終了後、FPIに興味がある場合は、「あおばFPくらしの会」へ参加することが出来ます。	4月～1月 全3回 
【障がい者活動支援事業】 みんなで踊ろう フラダンス	傷害のあるお子さまと一緒に参加できる場を提供することが目的です。子どもが自由に活動する中、参加者同士が助け合いの気持ちを育みながら、共通の時間をすごします。発表の場を持つ事でモチベーションを高め、1曲踊れるようにしてセンターまつりで発表します。	9月・10月 全2回 

横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

■地域の居場所づくり

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【生涯学習事業】 腸活で アンチエイジング	腸を健康にすることで体内の毒素が排出され、免疫力も高まり、日々の健康を目指せます。自分でできる腸もみや、栄養・食事のお話など、内側と外側の両方から腸の調子を整えます。	10月 1回 
【地域コミュニティ推進】 クリスマス コンサート	クリスマスに本格的なちよっと大人のジャズコンサートを無料で楽しんでいただきます。定番のクリスマスソングのジャズアレンジやオリジナル曲もあり、幅広い皆様に楽しんでいただけるコンサートです。	12月 1回  

横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会


■地域を担う人材の発掘・育成


事業名	目的・内容	実施時期・回数
【人材の発掘・育成事業】 認知症サポーター養成講座	認知症キャラバンサポーターによる認知症サポーター養成講座を開催します。認知症の正しい知識や認知症の方との関わり方を理解することで、認知症の方へ応援が出来るように学び、サポーターの中からまちづくりの地域リーダーとしての担い手となる人材が生まれることを期待します。同じ会場で相談窓口である地域ケアプラザや包括支援センターの活動を知ることが出来るパネル展を開催します。 連携施設・団体 ・地域ケアプラザ ・認知症キャラバン隊 ・社会福祉協議会	6月 1回 
【人材の発掘・育成事業】 プロから教わる介護のいろは	老人ホーム「ボンセジュール荏田」の地域貢献の一環として、2ヶ月に1度の介護に関する講座を開催します。在宅介護に役立つ補助の方法や、認知症の方への対応など、日頃老人ホームで行っているプロの関わりを教えてください。 連携施設・団体 ボンセジュール荏田	通年 6回 
【人材の発掘・育成事業】 防災コーディネーター養成講座	自分自身と大切な人の命を守るために、日頃から防災と減災に深い関心を持ち、意識を高めておく必要があります。自分で考え判断できる「防災力」を身に着ける事を目的とし、「防災検定」「ジュニア防災検定」の受験を目指します。 連携施設・団体 防災教育推進協会	9月 2回 
【人材の発掘・育成事業】 ロビーコンサート	地域の音楽大学を卒業した若い演奏家や、地元出身のアーティスト、山内地区センターで活動中の音楽サークルなどに発表の場を提供する事を目的としています。地域の皆様に気軽に音楽を楽しんでいただくと同時に、若い演奏家の活躍の場を広げます。	8月1回 


横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)


団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

■地域を担う人材の発掘・育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 わんぱくオセロ大会	将棋や囲碁とは違い、身近でルールも簡単なオセロを、トーナメント戦で行います。緊張感も感じながら楽しんでいただきます。 連携施設・団体 ・地域ケアプラザ ・社会福祉協議会 ・活動団体・サークル	4月 1回 

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 母の日企画 母の日に贈るポップアップカードを作ろう！	母の日のプレゼントとして、カードを作ります。身近な材料を使い、カーネーションの花びらが立体的に広がるカードに仕上げます。カードを開いた時の、お母さんの喜ぶ顔を想像しながら作ってほしい企画です。	5月 1回 


事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 父の日企画 パパと一緒にクッキング☆カレーとナンを作ろう！	父の日を前にした企画です。この機会に、親子でおいしいカレーとナンを作ります。料理をしながらのコミュニケーションも楽しんでいただきたい講座です。 連携施設・団体 ・NPO法人 結ぶ	6月 1回 


事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 夏休み企画 ボトルシップを作ろう！	ボトルシップ作りに挑戦していただく講座です。地区センターで活動している団体の皆さんがボトルシップの部品の準備と、当日の指導をしていただきます。毎年出来上がる個性的なボトルシップは2週間ほど地区センター内のショーウィンドーを賑やかにしてくれます。 連携施設・団体 ・青葉ボトルシップ愛好会	7月 2回 


横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)


団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

■地域を担う人材の発掘・育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 夏休み企画 小学生将棋教室	将棋の楽しさを感じていただく講座です。小学生低学年から参加でき、駒の種類も動きもわからない初心者のお子さんも、対局を楽しめるようになります。最終日には講師の方から認定証をいただきます。認定証により上達を実感できるため、毎年参加するお子さんもいる人気の講座です。 連携施設・団体 ・各地域のケアプラザ	8月 1回 

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 夏休み企画 科学実験教室 くるくるリングと牛乳 パック万華鏡を 作ろう!	牛乳パック等、身近にあるものを再利用した科学講座。夏休みの自由研究にもなる講座です。 連携施設・団体 ・おもしろ科学たんけん工房	8月 1回 


事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 長く回り続ける不思議なコマを作ろう! 秋の科学実験教室	電磁石により、長い間よく回る、不思議なコマを作ります。不思議なコマの仕組みを学びながらの科学講座です。 連携施設・団体 ・ひととゆめのネットワーク	10月 1回 


事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 おもちゃの病院	壊れたおもちゃの修理を無料で行います。親子で来館していただき、普段遊んでいるおもちゃ内部の構造を見ておもちゃの仕組みを理解し、おもちゃが修理されていく過程も確認していただきます。修理は、お子さんだけでなく付き添いで来られた保護者の方にも大変感謝される講座です。 連携施設・団体 ・横浜北部おもちゃドクターの会	9月3月 2回 


横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)


団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

■地域を担う人材の発掘・育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 日本の伝統文化を 楽しもう！ 小学生茶道教室	お茶を「飲む」「出す」「点てる」という三つの方法や作法を学び、日本の伝統文化を知る機会を目的にした講座です。	11月 1回 

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 プログラミングに 挑戦！ パソコン教室	文部科学省が2020年の新学習指導要領から、小学校で必須化すると発表しているプログラミング学習。この講座では、プログラミング学習用ソフトを使って、簡単なゲームを作ります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">連携施設・団体</div> ・あおばばそこん横丁	12月 1回 





事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 冬休み企画 みんなで書き初め in山内	講師の指導のもとで行う、書き初めです。題材は自由。自分の書きたい字を書きます。冬休みの宿題にも対応できるように、新年早々の企画です。	1月 1回 

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【小学生対象事業】 バレンタイン♡ チョコロールケーキ を作ろう！	ココア生地を焼き、生クリームやイチゴを入れた、ロールケーキを作ります。バレンタインにふさわしいラッピングも考えます。保護者の方も一緒に参加する講座なので、楽しいコミュニケーションの時間にしていただきたい企画です。	2月 1回 

横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

■他施設・活動団体との新たな連携・協働企画

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【地域連携事業】 大人のレクチャー シリーズ	定年退職後の男性の地域デビューや趣味の活動を支援する事を目的としています。健康・生活・趣味などの幅広いジャンルからそれぞれの専門家を招き講義をしていただきます。 連携施設・団体 ・地区センター登録団体	5月～3月 3回 
【学校連携事業】 桐蔭学園高等学校 校内楽部サマー コンサート	桐蔭学園高等学校室内学部サマーコンサートは、生徒たちが日ごろの練習の成果を発表できる場となると同時に、地域の方々に学校の活動を理解していただく事を目的としています。チラシ作成から舞台設営まで、高校生が協力してコンサートを作り上げます。高校生の初々しい演奏で様々なジャンルの曲が楽しめるコンサートです。 連携施設・団体 ・桐蔭学園高等学校室内楽部	7月 1回 
【学校連携事業】 日体大FIELDSと ミニサッカー	なでしこリーグ「日体大FIELDS」の選手とコミュニケーションを取りながらボール遊びをします。なでしこリーグを身近に感じてもらい、地元のチームに興味を持ったり、将来の夢へとつなげてもらいたいと思います。 連携施設・団体 ・日体大FIELDS横浜	7月 1回 
【地域連携事業】 みんなで脳活 レク!	大場・美しが丘・たまプラーザの3つの地域ケアプラザと共催。概ね65歳以上の方を対象に、脳の活性化を図るレクリエーションを楽しみながら、頭と身体をリフレッシュする体操や脳トレを紹介します。オリジナルの「山内カルタ」など、地域の情報をたくさん盛り込んだ企画も人気です。 連携施設・団体 大場・美しが丘・たまプラーザ地域ケアプラザ 青葉区社会福祉協議会 山内地区社会福祉協議会	9月 1回 

横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会


■他施設・活動団体との新たな連携・協働企画

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【地域連携事業】 英語でヨガ	青葉国際交流ラウンジの人気外国人講師による、英語でのヨガレッスン。英語もヨガもかなりの腕前という方から初めての方まで、女性限定のゆったりした雰囲気の中で安心してご参加いただけます。外国人の参加者も多いのが特徴です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">連携施設・団体</div> 青葉国際交流ラウンジ	11月1回 
【施設協会コラボ】 フィリアホール共催による ロビーコンサート	本物の音楽を地域の皆様に気軽に楽しんでいただくためのコンサートです。フィリアホールの担当者が厳選したアーティストが、誰でも知っている映画音楽、アニメ主題歌、クラシックやジャズの定番曲を山内地区センターのレクホールで演奏します。入場は無料で、出入りも自由。小さなお子様連れの方、高齢で遠くのホールへ行けない方、小学生同士など、どなたにでも楽しんでいただけるコンサートです。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">連携施設・団体</div> フィリアホール	2月1回 
【施設協会コラボ】 フィリアホールで 手作り楽器を 演奏しよう	山内地区センターとフィリアホール及び6つの地域ケアプラザの共催事業。1日めは各施設でそれぞれ楽器を作成し、2日目にはフィリアホールのステージで演奏します。普段なかなか立つ筈のできないフィリアホールのステージで演奏する喜びを感じてもらいます。また、プロのアーティストによる生演奏を聴き、本物の音を体感する事ができます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">連携施設・団体</div> <ul style="list-style-type: none"> ・フィリアホール ・地域ケアプラザ 	8月 全2回 
【学校連携事業】 横浜サイエンス フロンティア 高等学校天文部 夏休み天文教室	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校天文部とのコラボ企画。学校の天体ドームに設置してある、世界に2台しかない天体望遠鏡や、天文部員手作りのプラネタリウムの投影など、親子で楽しんでいただける内容です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">連携施設・団体</div> 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	7月1回 

横浜市山内地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

■他施設・活動団体との新たな連携・協働企画

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>【施設協会コラボ】</p> <p>ピンクリボン活動を 知ろう！ パネル展示と 触診体験</p>	<p>かながわピンクリボン協会との共催で、乳がん撲滅のための啓発事業を、6館で1週間ずつ展開します。女性のお客様やスタッフが多い施設であるため、注意喚起を促し、同時に、男性のお客様への啓発も行うことができます。パネル展示や乳房模型でのしこり触診体験を通して、定期的な自己触診と乳がん検診受診の大切さをお伝えします。また、ピンクリボンピンバッジ・ストラップ等のチャリティー販売を通して、かながわピンクリボン協会の活動支援のための寄附とします。</p>	<p>2月3月 全6回 当館開催1回</p> 

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市山内地区センター

令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

(単位：千円)

提案額 (a)	26,628	指定管理料提案額＝小計【イ】を記入 ※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。
※区指定上限額 (b)	26,628	
差引 (a) - (b)	0	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%	

II. 令和4年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
利用料金収入 [A]	9,339	
自主事業収入 [B]	877	
雑入 [C]	1,466	
小計 【ア】 ([A]~[C])	11,682	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	23,515	【ウ】 - 【ア】
指定管理料② (ニーズ対応費分) [E]	3,113	[A] × 1/3
小計 【イ】 ([D]~[E])	26,628	指定管理料の計
収入合計 (【ア】 + 【イ】)	38,310	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
人件費 [a]	26,045	
事務費 [b]	1,566	
自主事業費 [c]	1,077	
管理費A (光熱水費等) [d]	50	
管理費B (保守管理費等) [e]	2,131	
公租公課 [f]	2,805	
事務経費 [g]	1,523	
小計 【ウ】 ([a]~[g])	35,197	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h] (= [E])	3,113	[E]と同額になります。
小計 【エ】 ([h])	3,113	ニーズ対応費の計
支出合計 (【ウ】 + 【エ】)	38,310	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。
※現在の消費税及び地方消費税は10%ですが、現段階では利用料金は据え置き（消費税及び地方消費税5%の内税）としています。

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市山内地区センター

令和4年度収支予算書

1 収入の部内訳 (指定管理料除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額		
利用料金収入	部屋利用料金	令和元年度実績(3月分は平成31年度実績)×コロナによる影響(△4%)×努力目標(10%アップ)	ア	9339	
			イ		
			ウ		
			エ		
			オ		
			カ		
			キ		
			ク		
		ケ			
	小計		[A]	9,339	ア～ケ
自主事業収入	参加料金		コ	877	
			サ		
			シ		
			ス		
		セ			
	小計		[B]	877	コ～セ
雑入	印刷代		ソ	288	
	自動販売機手数料		タ	1173	
	その他	寄附金、利子、古紙	チ	5	
			ツ		
			テ		
			ト		
	小計		[C]	1466	ソ～ト

小計【ア】	施設運営収入計	11,682	[A]～[C]
-------	---------	--------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税(10%)込みの額を記載してください。
 ※利用料金収入については、現段階で据え置かれている利用料金(消費税及び地方消費税5%の内税)から見込んだ額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市山内地区センター

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

(単位：千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
人件費	正規雇用職員		ア 11,566	
	臨時雇用職員		イ 13,405	
	対象外の人件費		ウ 1,074	ウ-1~ウ-4
	通勤手当		ウ-1 928	
	健康診断費		ウ-2 26	
	勤労者福祉共済掛金		ウ-3 0	
	退職給付引当金繰入額		ウ-4 120	
	小 計		[a] 26,045	ア~ウ
事務費	旅費		エ 25	
	消耗品費		オ 750	
	会議賄い費		カ 10	
	印刷製本費		キ 10	
	通信費		ク 200	
	使用料及び賃借料		ケ 76	ケ-1~ケ-2
	横浜市への支払い分		ケ-1 53	
	その他		ケ-2 23	
	備品購入費		コ 100	
	図書購入費		サ 0	
	施設賠償責任保険		シ 29	
	職員等研修費		ス 20	
	振込手数料		セ 55	
	リース料		ソ 58	
	手数料		タ 230	
	地域協力費		テ 3	
			ツ	
			テ	
小 計		[b] 1,566	エ~テ	
自主事業費		[c] 1,077		
管理費 A	電気料金		ト 50	
	ガス料金		ナ 0	
	上下水道料金		ニ 0	
	小 計		[d] 50	ト~ニ
管理費 B	清掃費		ヌ 1,731	
	修繕費		ネ 400	
	機械整備費		ノ 0	
	設備保全費		ハ 0	ハ-1~ハ-6
	空調衛生設備保守		ハ-1 0	
	消防設備保守		ハ-2 0	
	電気設備保守		ハ-3 0	
	害虫駆除清掃保守		ハ-4 0	
	駐車場設備保全費		ハ-5 0	
	その他保全費		ハ-6 0	
	共益費		ヒ 0	
		フ		
		ヘ		
小 計		[e] 2,131	ヌ~ヘ	
公租公課	事業所税		ホ 0	
	消費税		マ 2,805	
	印紙税		ミ 0	
	その他()		ム 0	
	小 計		[f] 2,805	ホ~ム
事務経費	本部分		メ 76	
	当該施設分		モ 1,447	
	小 計		[g] 1,523	メ~モ
小 計【ウ】	施設管理運営経費計	35,197	[a]~[g]	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。

経営方針

1. 地域と積極的に連携して、生き生きとした暮らしや活力ある地域社会の実現を図ります。
2. 利用者や地域のニーズに真摯に対応し、満足度の高いサービスを追求めます。
3. 公共性と公益性を基本とし、公平、コンプライアンス、透明性を確保した施設経営を進めます。
4. 様々な施設間の連携を密にし、サービス向上など相乗効果を発揮した経営を進めます。



あゆみ

- 平成 7年 3月 「青葉区区民利用施設協会」(前身団体)設立
青葉区内の区民利用施設の管理運営開始
- 平成 18年 4月 指定管理者として6指定管理施設の管理運営開始
- 平成 22年 4月 「一般社団法人青葉区区民利用施設協会」設立
前身団体を引継ぎ法人組織として活動するため設立
- 平成 23年 4月 新法人として6指定管理施設と7受託施設の管理運営開始
- 平成 25年 4月 共同事業体指定管理者として青葉区民文化センター・
フィリアホールの管理運営開始
- 平成 26年 2月 「公益社団法人横浜市民施設協会」に法人名変更
- 平成 28年 4月 8指定管理施設、7受託施設、1共同事業体指定
管理施設を管理運営
- 令和元年 5月 荏田コミュニティハウスの管理運営開始
9指定管理施設、7受託施設、1共同事業体指定
管理施設を管理運営



組織概要

組織名称	公益社団法人横浜市民施設協会
所在地	〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野 2-9-22-302
連絡先	TEL : 045-482-9572 FAX : 045-482-9573
法人設立	平成 22年 4月
公益認定	平成 26年 2月
代表者	代表理事 松澤孝郎
役職員数	社員 21名 (うち、理事7名、監事3名) 職員 156名 (常勤職員 26名 時給職員 130名)

特色

1. 運営体制

施設運営のノウハウの蓄積があり、接遇・人権・危機管理研修の実施等により、適切な管理運営体制を確立しています。

- 施設毎の緊急時マニュアル
- 非常時用品の備蓄
- オリジナル「接遇ハンドブック」

face to face で、地域密着型のアットホームな人間関係を築いています。スタッフは全員、施設近隣の住民です。

2. 自主事業

地域のニーズを把握して、年齢・性別に偏らず、教養・工芸・音楽・料理・スポーツなど、広範にわたりバランスの良い事業を展開しています。年間事業数約 500 講座 (開催回数 800 回)。

延参加者数 58,000 人。

- *子育て支援講座
- *小中学生対象のわんぱくホリデー講座
- *チャリティーコンサート・バザー・ピンクリボン啓発活動等
社会貢献事業
- *複数館でのコラボ企画 (青葉歴史探訪等)

3. 地区センターの部屋予約

協会独自で開発した部屋予約システム“さ～くるデータ”にご登録いただくことで、当協会指定管理の4地区センターをご利用いただけます。また、ご予約には、窓口・電話のほかWebもご利用いただけます。



日頃から、当協会が運営する地区センター・コミュニティハウス等をご利用いただき、誠にありがとうございます。

私たちは、「公の施設」の管理運営を通じて、地域の皆様が、気軽に趣味やスポーツ、学習などのサークル活動により、生き生きとした潤いのある時間を過ごしていただくことで、「健康で活力のある暮らしづくり」、「ふれあいのある快適な地域コミュニティの醸成」のお手伝いをするのが使命であると考えています。

地域交流の輪づくりに少しでもお役に立ちたい。今日ここで出会えたことがいい思い出になってほしい。日々そう願って、皆様のお越しをお待ちしております。

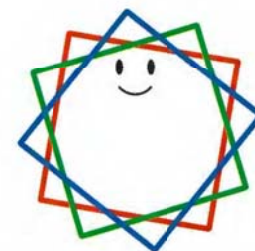
職員一同

公益社団法人 横浜市民施設協会

〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野2-9-22-302
TEL:045-482-9572 FAX:045-482-9573



横浜市民施設協会



あつまる・つながる・笑顔になる

